

経常収支比率の推移

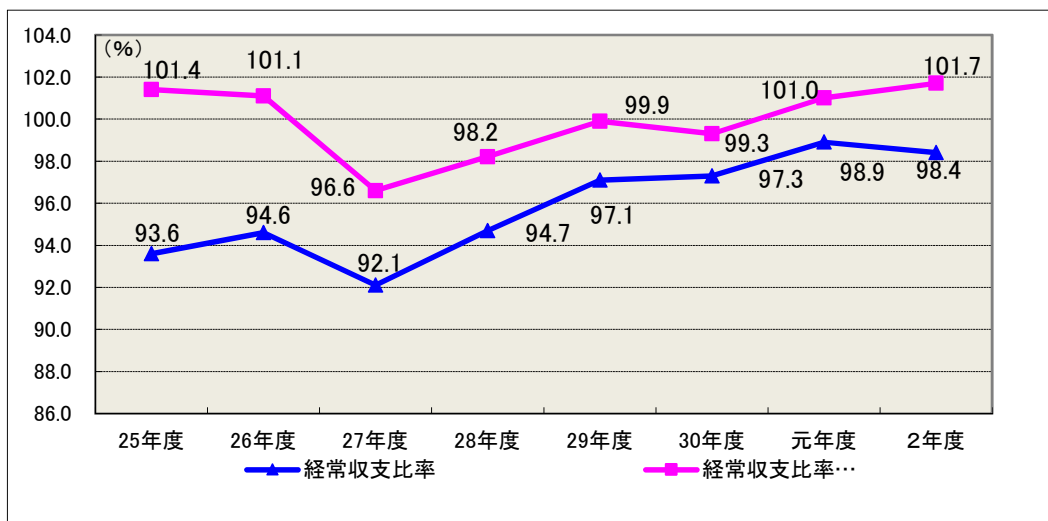
(単位:%)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
経常収支比率	93.6	94.6	92.1	94.7	97.1	97.3	98.9	98.4
経常収支比率 (減税補てん債等除く)	101.4	101.1	96.6	98.2	99.9	99.3	101.0	101.7

【経常収支比率】

毎年、必ず支払う経常経費のために、市税などの経常一般財源がどのくらい充てられたかを示す比率です。この比率が低いほど、新たな行政需要等に弾力的に対処することが可能になります。一般的に70～80%が望ましいとされていますが、全国的に上昇傾向にあります。

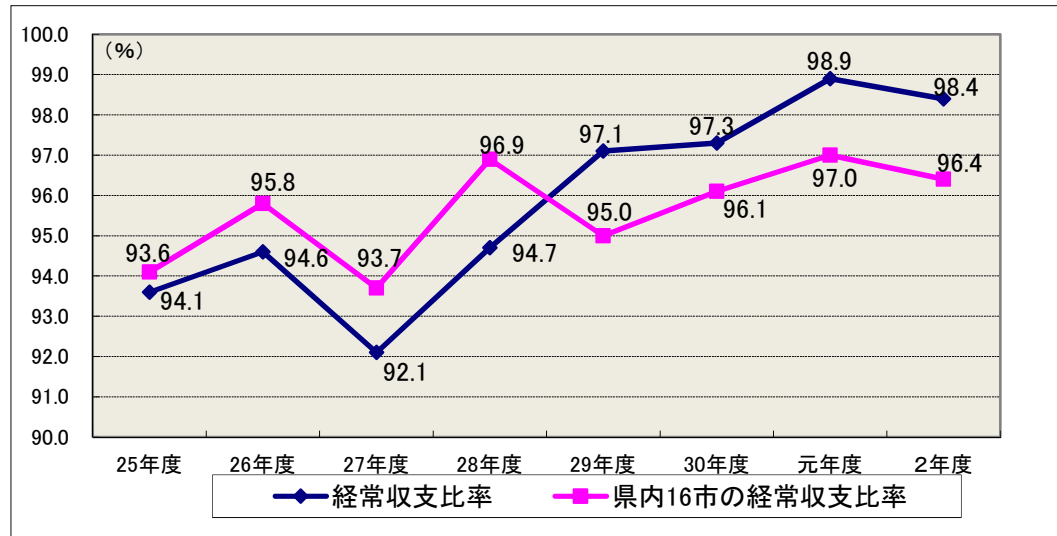
- 経常経費・・・毎年度持続して固定的に支出される経費（例：人件費、扶助費、公債費）
- 経常一般財源・・・用途が特定されない財源のうち、毎年度持続して収入されるもの（例：市税）



経常収支比率の推移（県下16市平均との比較）

（単位：％）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
経常収支比率	93.6	94.6	92.1	94.7	97.1	97.3	98.9	98.4
県内16市の経常収支比率	94.1	95.8	93.7	96.9	95.0	96.1	97.0	96.4



減税補てん債及び臨時財政対策債を除いた経常収支比率の推移（県下16市平均との比較（単位：%）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2 年度
経常収支比率 （減税補てん債等除く）	101.4	101.1	96.6	98.2	99.9	99.3	101.0	101.7
経常収支比率の16市平均 （減税補てん債等除く）	99.7	101.4	98.0	100.8	99.2	100.4	101.0	100.0

